

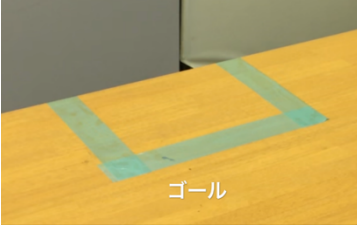
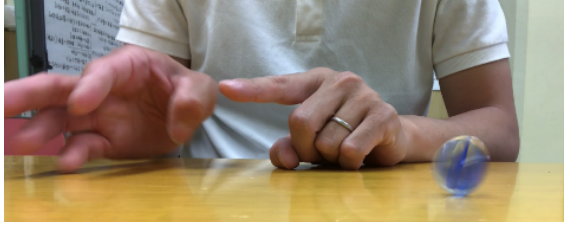


大項目	環境の把握④感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動
小項目	微細運動（手指の運動）
タイトル（教材名）	おはじきシュート
目的 身につけてほしい力	指先の細かい力の調整の仕方を身につける。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>①</p>  <p>ひとさしゆびで おさえて すべらせて</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>②</p>  <p>ひとさしゆびを つくえに つけて</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>③</p>  <p>ゴール</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>④</p>  </div> </div> <p>【用意するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはじき（100円均一ショップのもの、なければペットボトルのキャップを使用する） ・テープ（ゴール（画像③）用、なければボールペンなどでゴールを作る）
教材の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、おはじきをはじく練習をする。利き手の人差し指の爪を親指の腹にあててはじく。中指を使用してもよい。実際におはじきをはじいてみる。 ・人差し指でおはじきをおさえて滑らせてとばしてもよい（画像①）。 ・人差し指の爪を机につけておはじきをはじいてもよい（画像②）。 <p>活動①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テープで、机にゴールを作る（画像③）。 ・おはじきをはじいてゴールを通過させる。おはじきが机の下に落ちてよい。また、机の端に箱などを取り付けると、おはじきが入ったことが分かりやすくなる。 ・難易度を上げたものとして、おはじきを机から落ちないように（ゴールの枠内に止まる）はじく、などが考えられる。 <p>活動②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはじきをはじいて、予め置いてある他のおはじきにあてる。 <p>活動③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはじきをコマが回るようにはじく。 ・利き手ではない手の人差し指で、立てたおはじきを軽く支える。 ・利き手の人差し指でおはじきの面の端の方をはじくと、コマのように回る。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・固有覚、前庭覚に刺激を入れる取り組みです。 ・ゴールや予め置く他のおはじきまでの距離は児童生徒の実態に合わせて調整する。 ・自立活動の他の項目との関連例 <ul style="list-style-type: none"> <環境の把握>①保有する感覚の活用 <身体の動き>①姿勢と運動・動作の基本的技能 ⑤作業に必要な動作と円滑な遂行 ・参考文献「発達の子になる子の感覚統合あそび」川上康則 ナツメ社 2015年

